

民意を反映する選挙制度実現  
比例定数削減反対！ **運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2012年11月15日

第369号 Tel 03-3261-9007  
本号3号 Fax 03-3261-5453

## 野田首相とうとう国会解散 国民の怒り追い詰める 「比例定数削減が条件」は二重三重の暴論 民主党は法案を撤回せよ！ 3党談合やめよ！

消費税増税法の強行、原発の再稼働・建設再開、オスプレイの配備・訓練の強行、アメリカ軍の新基地建設、TPP参加表明など公約を裏切り、国民に苦難を押し付ける政治の大暴走を続けてきた民主党野田内閣は、国民の大きなたたかい、怒りの世論に追い詰められ14日、とうとう16日に国会を解散することを表明しました。総選挙は12月4日公示、16日に東京では都知事選挙と同時の投票となります。

「身を切る」といって比例定数削減法案を解散の条件にするのは言語道断

野田首相が解散の条件にあげているのは比例定数削減を含む選挙制度改革です。民主党は14日、解散表明をした党首討論に先がけて、前国会で廃案になった選挙制度改革関連法案（小選挙区0増5減、比例40削減、一部に連用制導入、さらにその次の選挙に向けて35の削減）を提出しました。比例定数削減は、民意を歪め続けている現行制度にあってわずかでも民意を反映する部分を削るものです。「身を切る」のではなく、消費税大増税に怒る民意を削るものです。悪政の連続のうえに国民がそれにももの言うことも封じるという二重三重の暴論です。

「0増5減先行」は小選挙区制固定化ねらう。選挙制度は民意の反映でこそ

民自公3党は、15日中にも「0増5減先行」の衆院通過をやろうとしています。「0増5減先行」は、民意を歪めてきた根源である小選挙区制を固定化するものです。選挙制度は民意を鏡のように映すものでなければなりません。民主主義の前提です。だからこそ、国会内の各党協議では、小選挙区制が柱となっている現行制度を抜本的に改革することで、民主党を除くすべての党が一致しています。これは広範な国民の要求でもあります。

民主党は法案を撤回せよ、倫選特での審議強行は許さない

民主党は選挙制度関連法案を直ちに撤回すべきです。政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会（倫選特）での審議強行は許せません。

各党、倫選特委員らに国会でも地元でもファックスでメールで電話で訪問で緊急要請を

民自公3党の談合が進み、解散前に審議の強行が図られようとしています。各党、倫選特委員、関係議員などに対し、「民主党は法案を撤回してください」「倫選特では審議の強行をしないでください。ましてやどさくさでの採決強行など、もってのほかです」「選挙制度は民意を反映するものにしてください」などの要請を、地元でも国会でも緊急におこないましょう。国会議員は、この時だからこそなにより世論に敏感です。

「これが民意だ！！」と怒りのファックスを山と積み上げようではありませんか。【別ページに倫選特名簿、各党連絡先一覧】（「運動情報」編集・憲法会議事務局長 平井正）